

関西のインフラ強化を
進める会資料

「連携から共創へ」

令和7年4月22日
和歌山市長 尾花 正啓



和歌山市の概要

●人 口 354,837人

●世帯数 176,639世帯

(令和6年4月1日現在)

●面 積 208.85km²

(令和4年4月1日現在)

●中核市

- 大阪まで約1時間
- 関西空港まで約30～40分

和歌山城



和歌山市の概要

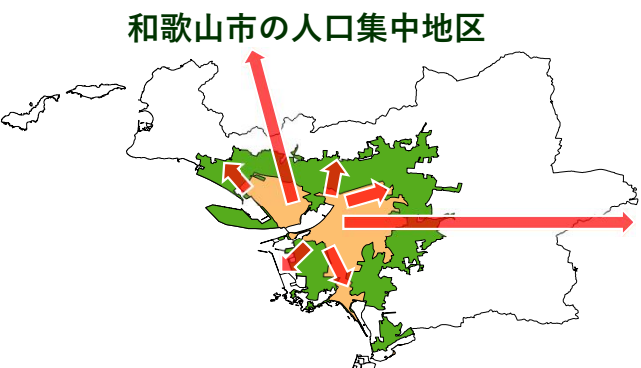


加太周辺地域

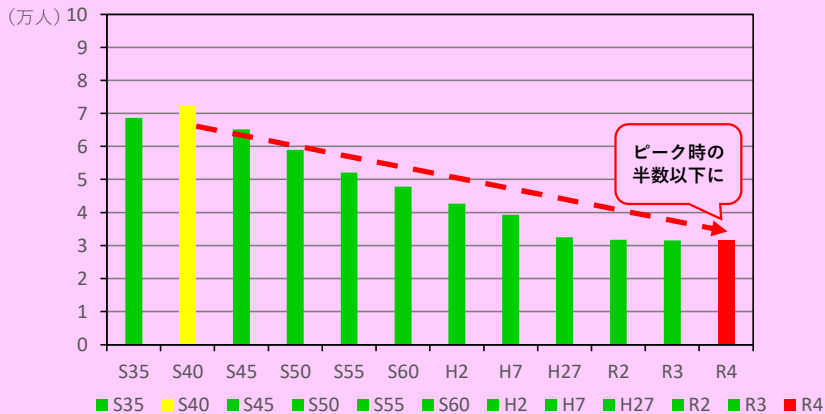


和歌山市のまちなかの衰退

まちなかの空洞化



まちなかの人口はピーク時の半数以下に



ぶらくり丁商店街の今昔

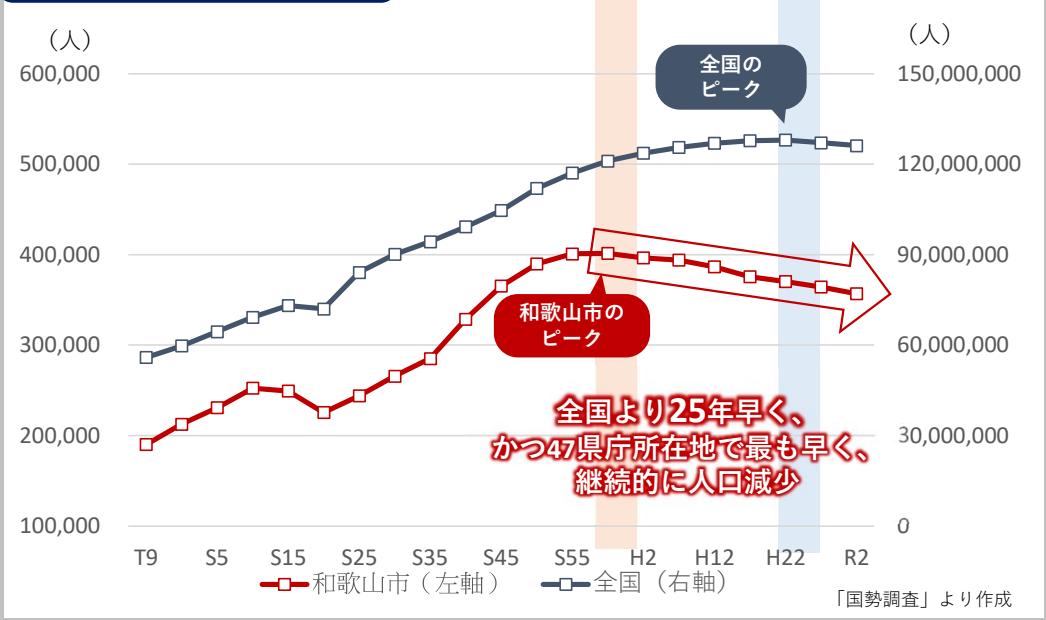


昭和40年代のにぎわい



近年のシャッター商店街

和歌山市と全国の人口推移



まちなか再生に向けたきっかけ作り

大学誘致 × 公共施設再編 × 公共空間確保 × リノベーション



地方に必要な人材育成

誘致前の課題：専門人材の不足

看護師を目指す学生の市外流出

年度	市外の学校に進学する高校生（人）		
	大学	専門学校等	計
H25	58	33	91
H26	41	57	98
H27	53	43	96

リハビリ系（理学・作業療法士）を目指す学生の県外流出

年度	県外の学校に進学する高校生（人）		
	大学	専門学校等	計
H26	105	44	149
H27	100	43	143
H28	83	55	138

有効求人倍率

専門人材	平成27年度平均
全体	1.0倍
看護師等	2.08倍
理学・作業療法士	7.86倍
医師・薬剤師	3.80倍
保育士・幼稚園教諭	2.90倍



地方に必要な
エッセンシャルワーカー



平成30年4月開学

①東京医療保健大学
和歌山看護学部看護学科
大学院 和歌山看護学研究科



平成31年4月開学

②和歌山信愛大学
教育学部子ども教育学科



令和2年4月開学

③宝塚医療大学
和歌山保健医療学部
リハビリテーション学科
看護学科（R4.4設置）



令和3年4月開学

④和歌山リハビリテーション
専門職大学
健康科学部リハビリテーション学科



令和3年4月開学

⑤和歌山県立医科大学
薬学部
薬学部薬学科

耐震化の必要な公共施設配置の最適化



和歌山市民図書館（令和2年6月オープン）

⇒ まちなかの核となる南海和歌山市駅と市民図書館の複合施設



和歌山城ホール（令和3年10月オープン）

⇒ 市のシンボルである和歌山城前に再配置、屋上をビュースポットとして開放

人が集い交流するオープンスペースの整備

本町公園P-PFI

パークPFIを活用し、休止していた地下駐車場と公園との一体管理とし再活用



京橋親水公園

水辺に親しみ、イベント活用も可能なまち歩きの拠点



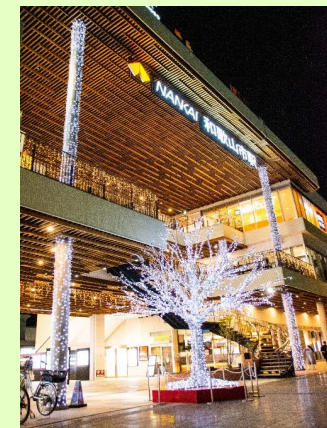
城前広場

和歌山城との一体的活用により賑わいを創出



市駅前広場

活用団体と共に駅広計画策定



空き店舗の活用

リノベーションスクール

- 遊休不動産を活かして都市・地域経営課題を解決
- まちづくりの担い手となる人材育成



空き店舗お試し活用事業

- 空き店舗を活用し、起業に向けた短期間のお試しショップ



これまでの取組の萌芽

「地学地就」の実現

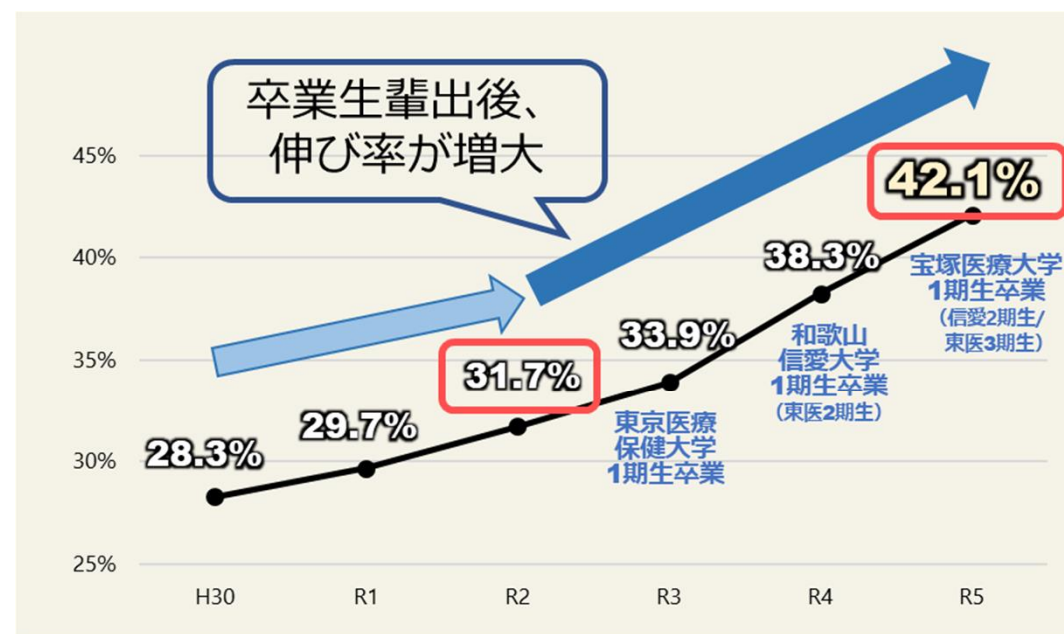
誘致した大学のR5年度卒業生

東京医療保健大学
和歌山信愛大学
宝塚医療大学

就職者のうち県内就職率

84.1%

うち約8割が女性

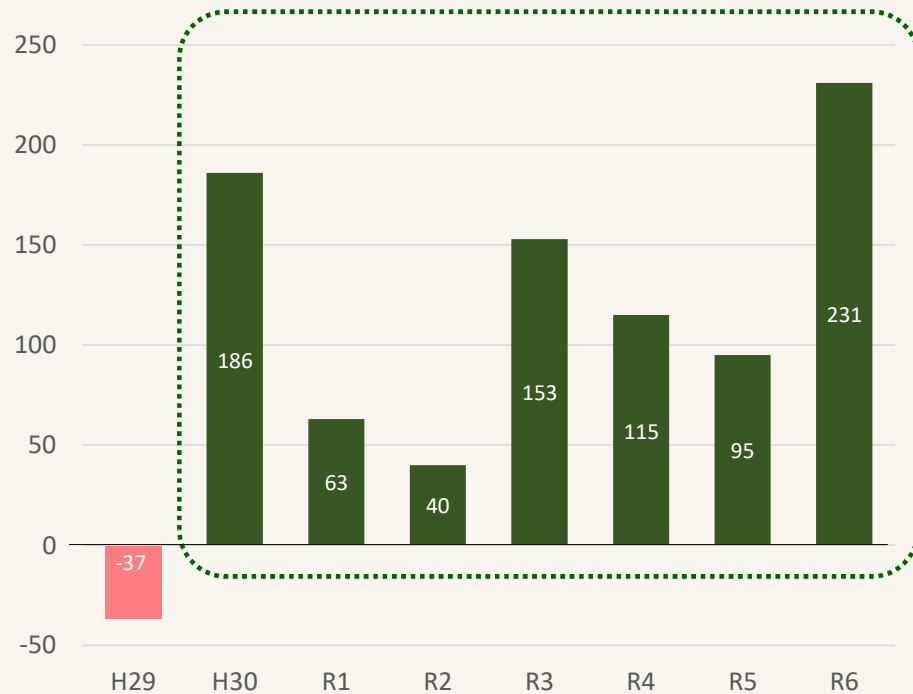


市内大学卒業生の県内就職率約10%増加

中心市街地の求心力の向上

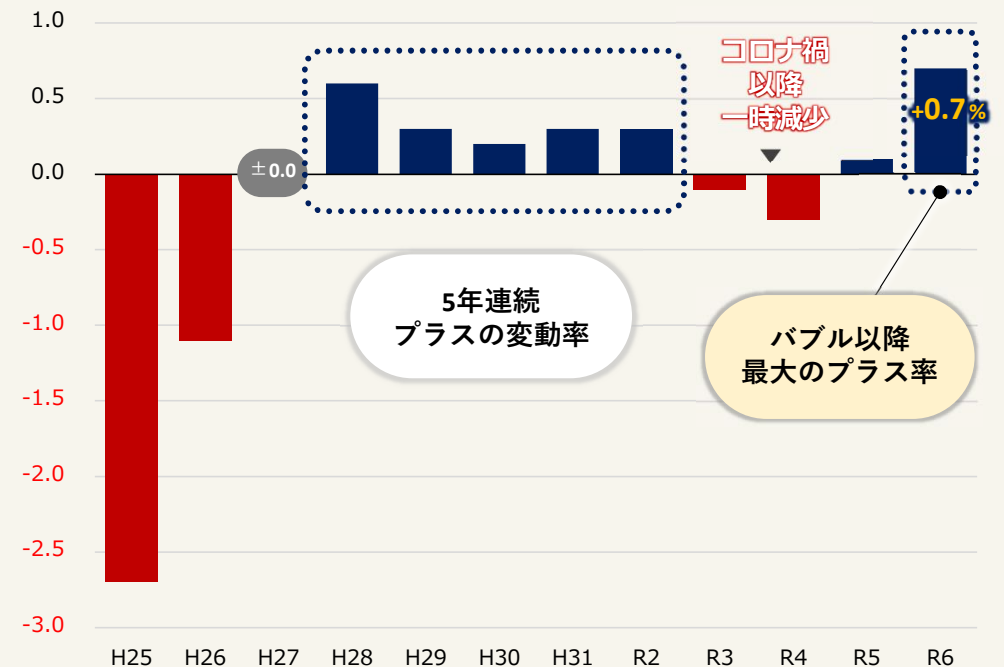
まちなかは継続的に転入超過に

(人)



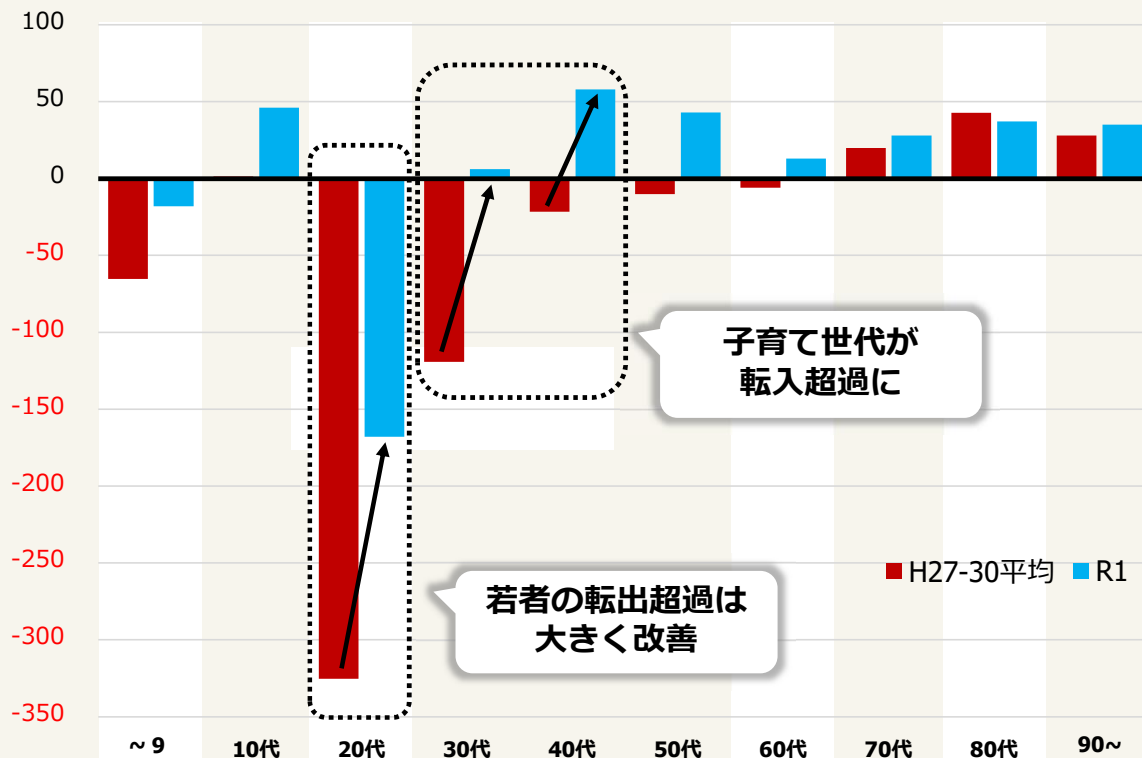
商業地の地価は継続的に上昇*

(*平均地価変動率がプラスの値)



多極型コンパクトシティによる全体価値の向上

子育て世代における転入超過に



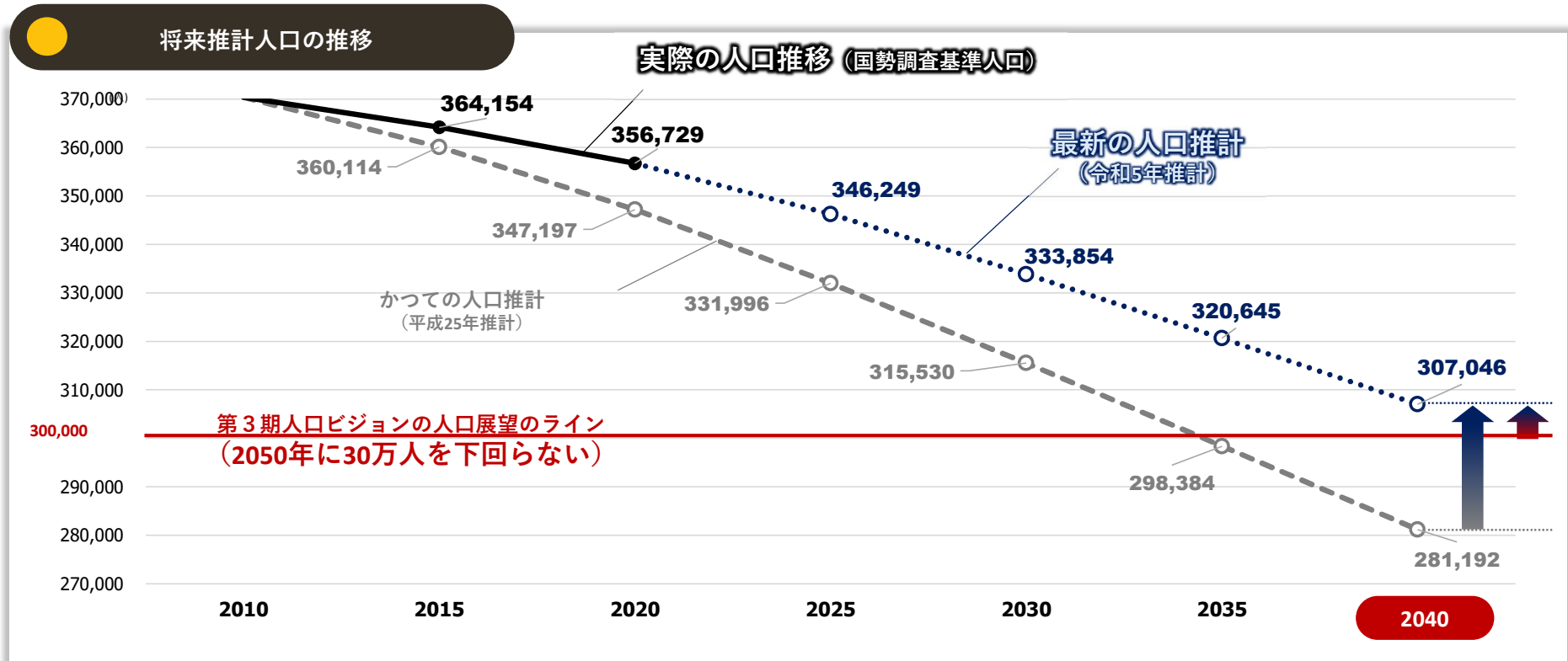
市内住宅地平均地価34年ぶりに上昇へ



「都道府県地価調査」(R6.9)より作成

凡例：↑ (上昇した地点)

将来推計人口の上振れ



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より作成

これまでの地方創生の取組により
2040年の人口推計が**25,854人**上振れ

学生の力が社会の力に

学生の社会活動・ 地域への参加が活発化



本町こどもフェスタ



子育て支援
ほほえみキャンパス



市民公開健康講座



紀州おどり「ぶんだら節」への参加

● 人のつながりと愛着の醸成

● 地域フロンティアセンターの設置

学生等のボランティア・地域社会とのつながりの拠点



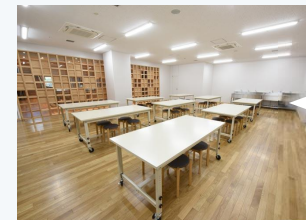
ほんまち子ども食堂



授業での活用

● 和歌山城ホールの学生交流拠点化

和歌山城ホールを学生がいつでも集える場へ



空いている
会議室・工房を
交流の場として
学生に無料開放

何やってもアカン... → よっしゃ、やるか!!

- ▲ ...リノベーションスクール案件 (10件)
- ▲ ...スクール受講生や家守舎が携わった案件 (32件)
- ▲ ...空き店舗お試し活用事業による開業 (48物件中25物件)
- ...新規出店 (9件)

出店数 合計56件

※2015以降



住民主体のまちづくりを進めています

南海和歌山市駅エリア



四箇郷エリア



ぶらくり丁エリア



砂山エリア



和歌浦エリア



中心市街地

南海和歌山市駅

JR和歌山駅

和歌山城

大新エリア



JR和歌山駅エリア



まちづくりの担い手数は全国一（都市再生推進法人の指定）

- 都市再生推進法人（※）に **13団体** を指定 **全国一の団体数**
- 官民協働まちづくりを推進するため、H29年10月にまちづくり会社などのまちづくり団体を指定し、その後、順次必要に応じてまちづくり団体を指定

※ 都市再生特別措置法において都市再生整備計画の区域内におけるまちづくりを担う法人として、市町村が指定するもの（平成19年度～）
まちづくりの担い手として公的位置付けを付与され、道路占用許可の特例、河川敷地占用許可準則の改正に基づいた河川占用や都市利便増進協定などが実施可能



指定書交付式 平成29年12月26日

- ① 特定非営利活動法人砂山バンマツリ
- ② 特定非営利活動法人愛福会
- ③ 株式会社紀州まちづくり舎
- ④ 株式会社sasquatch(サスカッチ)
- ⑤ 一般社団法人みんとしよ
- ⑥ 株式会社真田堀家守舎
- ⑦ 株式会社ワカヤマヤモリ舎
- ⑧ befriend株式会社
- ⑨ 一般社団法人市駅グリーングリーンプロジェクト
- ⑩ 一般財団法人和歌山まちづくり財団
- ⑪ 株式会社IKOTAS
- ⑫ 一般社団法人クリスタルWave
- ⑬ 株式会社紀泉ふるさと創研

さらに連携から共創へ...
～新たな価値創造～

京橋親水公園での屋台村開設



市駅GGPによる道路空間再配置の社会実験



ウォーカブルシティを目指した社会実験



モビリティでまちづくりを～サンドボックス制度の活用～

※サンドボックス制度はGFR-02のみ



GFR-02



glafit AISIN

和歌山城天守閣での
ドローンショー



けやき大通りのイルミネーション



ご清聴ありがとうございました！



－和歌山市は新大阪から特急くろしおで約1時間－